

CIインサイトレポート

－ 乾癬 2024 －

【 目次見本 】

2024.5

§ レポートTOPICs

調査対象疾患	<p style="text-align: center;">乾 癬 <尋常性乾癬、乾癬性関節炎、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症></p>	
調査ポイント・ topics	TyK2阻害薬 ソーティクツ	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 最新の処方状況について分析・検証 ➤ 薬剤評価について検証（オテズラ/Bioとの比較） ➤ 今後の処方動向について予測 ➤ 処方施設制限撤廃の方向性について検証・予測 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 最新の処方実態・薬剤評価について徹底分析！ ⇒ 今後の処方動向予測について徹底予測！ <p style="text-align: center;">＜処方施設制限撤廃の見通しは？＞</p>
	Bio	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 薬剤別処方状況について分析・検証 ➤ 1st処方状況、1st決定時の判断ポイントについて分析・検証 ➤ 薬剤別今後の処方動向について予測 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 最新の処方実態について徹底分析！ ⇒ 今後のBio全体/薬剤別処方動向を徹底予測！ <p style="text-align: center;">＜ソーティクツの影響度は？＞</p>
	新規薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 新規薬剤（経口剤）のポテンシャル・処方動向について検証・予測 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 新規経口剤のポテンシャルを徹底検証！ <p style="text-align: center;">＜ソーティクツを超える薬剤は？＞</p>
	パラダイムシフトの 方向性	<p style="text-align: center;">＜Bio、経口剤（ソーティクツ・新規薬剤）の処方動向予測を踏まえた上で＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>今後の治療パラダイムシフトを徹底予測！</u> （Bio全盛の乾癬市場に経口剤市場は確立されるか？）

■ 主要調査対象

※ 下線・太字は調査重点対象

疾 患			乾癬 (尋常性乾癬、乾癬性関節炎、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症)	
治療薬	既存薬	Bio (生物学的製剤)	TNF	インフリキシマブ、アダリムマブ、シムジア
			IL-12/23	ステラール
			IL-17	コセンティクス、ルミセフ、トルツ、
			IL-23	トレムフィア、スキリージ、イルミア
		新規薬剤	IL-17	ビンゼレックス
			IL-36	スベピゴ
		経口剤	PDE4阻害薬	オテズラ
			<u>TyK2阻害薬</u>	<u>ソーティクツ</u>
			JAK阻害薬	リンヴォック
	新規薬剤 (開発薬)	経口剤	IL-23受容体拮抗ペプチド	JNJ-77242113
			TyK2阻害薬	TAK-279 ザソチチニブ BMS-986322 ロメデューシチニブ
			TNFR1シグナル伝達阻害剤	SAR441566
		外用剤	AhRモジュレーター	JTE-061 タピナロフ

§ レポートPart別概要

調査種類	Part I データ分析編	Part II 定量調査編	Part III KOLヒアリング編
調査手法	(オープンソースを基にした) データ分析	インターネットによるWEB調査	デプスインタビュー
調査対象医師/ 対象医師数	—	乾癬臨床医 計 165名 All Bio User 内 ソーティクツUser 99名	乾癬 TOP KOL 3名 【関連学会 役員/理事】
調査対象診療科 ＜施設種類＞	—	皮膚科 ＜HP/GP＞	皮膚科 ＜HP＞
調査内容	<p>＜既存薬＞ 治療薬一覧、臨床試験、関連論文</p> <p>＜開発薬（国内/海外）＞ プロフィール、作用機序・特性、 臨床試験、関連文献</p> <p>＜その他＞ 注目企業動向、関連学会情報</p> <p>＜別添＞ 抄録集（関連論文）</p>	<p>＜診療・患者動向＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 疾患別患者動向 ● 疾患別薬剤処方状況 <p>＜Bio処方状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤別処方状況 ● 1st Bio処方状況、決定時の判断ポイント <p>＜ソーティクツ処方動向・薬剤評価＞</p> <p>[対象:ソーティクツUser]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の処方状況・ポジショニング ● 薬剤評価（オテズラ・Bioとの比較） ● 今後の処方動向予測 <p>[対象:ソーティクツNon-User]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 処方阻害要因 ● 今後の処方予定 <p>＜Bio今後の処方動向予測＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 疾患別全体処方動向予測 ● 临床上で必要な薬剤 ● 1st Bio処方動向予測 <p>等</p>	<p>＜ソーティクツ処方動向・薬剤評価＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の処方状況・ポジショニング ● 薬剤評価（strong/weak point） ● 今後の処方動向予測* ● 処方施設制限撤廃に関する見解* <p>＜Bio処方状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 疾患別薬剤処方トレンド ● 疾患別1st Bio処方状況 ● 疾患別1st Bio決定時の判断ポイント <p>＜新規薬剤評価・処方動向予測＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 薬剤別ポテンシャル分析・有望視される薬剤 <p>＜Bio今後の処方動向予測＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 疾患別全体処方動向予測* ● 1st Bio処方動向予測 <p>＜分子標的薬処方環境の変化動向予測＞*</p> <p>等</p> <p>* 国内全体の実態/将来動向についての 検証/予測を含む</p>
調査実施時期	2024年 3月 ～ 4月		
体裁／頁数	Part I … P P T （ or E X C E L ） 、 Part II & III … P P T ／ A 4 計約300ページ（報告書本編のみ、別添は含まない）		
レポート価格	レポート本編 ※オプション	フルセット＜3パート＞ ロウデータ ロウデータ + ターゲットマッチング	190万円（税別） 50万円（税別） 60万円（税別）

* Part別販売 可

< Part I データ分析編 目 次 >

調査概要	3	Ⅲ. 関連企業動向	67
I. 既存品	4	Ⅳ. 学会情報	80
I -1. プロファイル	5	IV-1. 日本乾癬学会	81
I -2. 作用機序・特性	16	IV-2. 日本皮膚科学会	88
I -3. 薬価	33	IV-3. 日本皮膚科学会東部支部	96
I -4. 販売高推移	43	IV-4. 日本皮膚科学会中部支部	98
I -5. 臨床試験 (UMIN)	44	IV-5. 日本皮膚科学会西部支部	101
I -6. 臨床試験 (jRCT)	46	IV-6. 日本皮膚科学会東京支部	103
I -7. 臨床試験 (UMIN&jRCT)	55	IV-7. 日本臨床皮膚科医会	106
Ⅱ. 開発品	56	IV-8. 日本リウマチ学会	108
Ⅱ -1. プロファイル	57	V. 関連文献	111
Ⅱ -2. 作用機序・特性	61	V-1. 既存品・製品別	112
Ⅱ -3. 臨床試験 (jRCT)	64	V-2. 既存品・複数	122

< Part II 定量調査 要約編 目次 >

調査概要	3
回答者プロフィール	4
§.Executive Summary	5
§.Summary	14
1) 診療状況	15
2) 生物学的製剤・TyK2/JAK阻害薬処方状況	19
3) 生物学的製剤処方状況・薬剤評価	29
4) ソーティクツ処方動向・製品評価(ソーティクツ処方医)	41
5) ソーティクツ処方経験・今後の処方意向(ソーティクツ非処方医)	57
6) 生物学的製剤今後の処方動向	61

< Part II 定量調査 結果編 目次 >

調査概要	3	4) ソーティクツ処方動向・製品評価(ソーティクツ処方医)	45
回答者プロフィール	4	4-1.現在の処方状況(処方パターン)	46
§ 調査結果	5	4-2.処方時の期待ポイント<尋常性乾癬>	50
1) 診療状況	6	4-3.製品評価<尋常性乾癬>	51
1-1.疾患別診療患者数(直近3ヶ月間)	7	4-4.項目別満足度<尋常性乾癬>	53
1-2.薬剤種類別処方状況	8	4-5.今後の処方状況(処方パターン)<尋常性乾癬>	56
2) 生物学的製剤・TyK2/JAK阻害薬処方状況	14	4-6.生物学的製剤への切り替え動向<尋常性乾癬>	57
2-1.臨床上的での処方薬剤	15	4-7.他剤への影響度(処方数減少薬剤)<尋常性乾癬>	58
2-2.生物学的製剤の薬剤別処方状況	18	4-8.今後の処方動向予測<尋常性乾癬>	60
2-3.新規処方状況(直近3ヶ月間)<尋常性乾癬/乾癬性関節炎>	24	4-9.今後の処方意向<尋常性乾癬以外>	62
2-4.薬剤別新規処方状況(直近3ヶ月間)<尋常性乾癬/乾癬性関節炎>	25	5) ソーティクツ処方経験・今後の処方意向 (ソーティクツ非処方医)	64
3) 生物学的製剤処方状況・薬剤評価	31	5-1.処方経験・中止理由	65
3-1.1st Bio決定時の重視内容<尋常性乾癬/乾癬性関節炎>	32	5-2.今後の処方予定	66
3-2.1st Bio処方状況	33	5-3.処方時の期待ポイント<尋常性乾癬>	67
3-3.薬剤評価(有効性)	36	5-4.処方パターン<尋常性乾癬>	68
3-4.薬剤評価(有効性以外)	43	5-5.生物学的製剤への切り替え動向<尋常性乾癬>	69
< >は対象疾患		5-6.他剤への影響度(処方数減少薬剤)<尋常性乾癬>	70
		5-7.処方阻害要因	72
		6) 生物学的製剤今後の処方動向	73
		6-1.疾患別処方動向予測	74
		6-2.今後の1st Bio決定時の重視内容<尋常性乾癬・乾癬性関節炎>	75
		6-3.臨床上で必要な薬剤	77
		6-4.1st Bio処方動向予測	79

< Part Ⅲ KOLヒアリング編 目次 >

調査概要	3
Summary	6
1. ソーティクツ処方状況	20
2. ソーティクツ製品評価	23
3. ソーティクツ処方動向予測	27
4. Bio処方状況	33
5. 新規薬剤（開発薬）ポテンシャル分析	40
6. Bio処方動向予測	44
7. 分子標的薬処方環境の変化動向予測	49